



人KENまもる君

違いを認め合い 互いを尊重し合い
一人ひとりが豊かに生きられるまちづくり

人権イメージ
キャラクター



人KENあゆみちゃん

令和7年度

四万十市人権 フェスティバル

2025年

12/6

土

13:15~16:00

四万十市総合文化センターしまんとぴあ
1階 りぐるホール

入場
無料

手話通訳つき



【講師】勝又栄政
トランスジェンダー当事者

13:15~13:30 開会セレモニー

13:30~13:50 中村南小学校吹奏楽部 演奏

13:50~14:30 人権絵画・標語作品展表彰式

14:30~16:00 人権講演会

『誰一人取り残さない』社会に向けて
私たちができること
～LGBTQ+・多様な性の観点から～

市内小中学生

『人権絵画・標語作品展』

12/1(月) 12:00 ~ 12/6(土) 16:00

1階アートスペース



しまんとぴあ駐車場、ア
ピアさつき駐車場2階・
3階しまんとぴあ専用駐
車場をご利用ください。

※道路を横断する時は
横断歩道を渡ってください。



主 催 四万十市、四万十市教育委員会

四万十市 HP▶



共 催 高知地方法務局四万十支局、四万十市人権擁護委員協議会、四万十地域人権啓発活動ネットワーク協議会

後 援 幡東保護区保護司会、四万十市区長会、四万十市人権教育研究協議会、四万十市小中学校PTA連合会、四万十市老人クラブ連合会、四万十市連合婦人会中村支部、
部落解放同盟中村支部、四万十市社会福祉協議会、四万十市中村地区民生委員・児童委員協議会、四万十わかば更生保護女性会、高知県農業協同組合中村支所

【お問い合わせ】 四万十市立人権啓発センター TEL 0880-34-5751

令和7年度

四万十市人権フェスティバル



人権フェスティバルとは

国連総会が、「世界人権宣言(1948年)」を採択した12月10日を「人権デー」として、世界中で人権の記念行事が催され、また、基本的人権を憲法が保障している日本でも、毎年12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」として全国各地で、人権諸課題の解決に向けた様々な事業が実施されます。

四万十市においても、市民一人ひとりが身近な人権問題についての認識を深め、心明るく幸せな家庭と社会を築けるよう『人権フェスティバル』を実施して、人権が尊重され人と人が支え合う地域社会の実現をめざすものです。

かつ また てる まさ 勝又 栄政 氏 プロフィール

トランスジェンダー当事者。勝又氏は東北地方出身で、出生時は女性として戸籍に登録され、幼少期から自身の性に違和感を感じ19歳の時に友人や親にカミングアウト。改名や治療などを経て、戸籍上は女性のまま、生活上男性として暮らしています。

現在は宮城教育大学非常勤講師・日本学術振興会特別研究員として研究を行いながら、移住先の大月町を拠点に、全国各地の自治体や企業などでの講演会も多く行っています。



【勝又氏自身による自己紹介】

私は、出生時に割り当てられた性別は女性、ジェンダーアイデンティティは男性のトランスジェンダーです。幼少期は身体の変化や、周囲の価値観と自分との気持ちのズレの間(はざま)で生きづらさを抱えていましたが、ある転機によって「自分にとって必要な生き方」を選択することができるようになりました。

就労移行支援の仕事を経て、現在は日本学術振興会特別研究員・大学の非常勤講師として研究や講演活動を行っています。研究では、トランスジェンダーとその家族を中心に「性的マイノリティではない人々」に焦点を当て、当事者に対し受け入れがたさが生じる社会的な背景や、共存の可能性について考えています。誰もが生きやすい社会の仕組み、個人の在り方、教育とは何かを日々模索中です。